

令和5年9月22日



ちゅうせい

## 国道23号 中勢バイパス

令和5年11月19日(日) に全線開通！

すずか やすづか

～鈴鹿(安塚)工区 延長2.8kmが開通～

## 1. 概要

ちゅうせい

みえ

すずか

きたたまがきちよう

まつさか

おづちよう

中勢バイパスは、三重県鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町に至る延長33.8kmのバイパスで、国道23号現道の交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保、地域産業の支援を目的に計画された道路です。

鈴鹿(安塚)工区の開通により、中勢バイパス全線が暫定2車線で開通します。

開通区間：国道23号 中勢バイパス 鈴鹿(安塚)工区

【別紙1】

みえ すずか きたまがきちよう のまち

三重県鈴鹿市北玉垣町～野町 約2.8km

開通日：令和5年11月19日(日)

※開通時刻、開通式典等の詳細は、後日お知らせいたします。

## 2. 期待される開通効果

## ◇交通環境の改善

【別紙2】

通過交通が中勢バイパスへ転換し、所要時間の短縮、死傷事故件数の低減に期待！

## ◇中勢地域の産業支援：円滑な物流の確保

【別紙3】

四日市港や津松阪港を発着する物流について、円滑な物流交通の確保が期待！

## ◇災害に強い道路機能の確保

【別紙4】

内陸部に位置する中勢バイパスの開通により、災害時における道路ネットワークの多重性・代替性が強化されるなど災害に強い道路機能を確保！

## ◇未開通区間の交通環境の改善

【別紙5】

中勢バイパスへの交通転換により、国道23号及び周辺道路の渋滞緩和に寄与！

## 3. 配布先

三重県政記者クラブ、第二県政記者クラブ、  
津市政記者クラブ、鈴鹿市政記者クラブ、松阪記者クラブ

## 4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所

もうり いさむ

ますだ けいや

副所長 毛利 勇

計画課長 増田 恵也

電話 059-229-2220

ホームページアドレス <https://www.cbr.mlitt.go.jp/mie/>

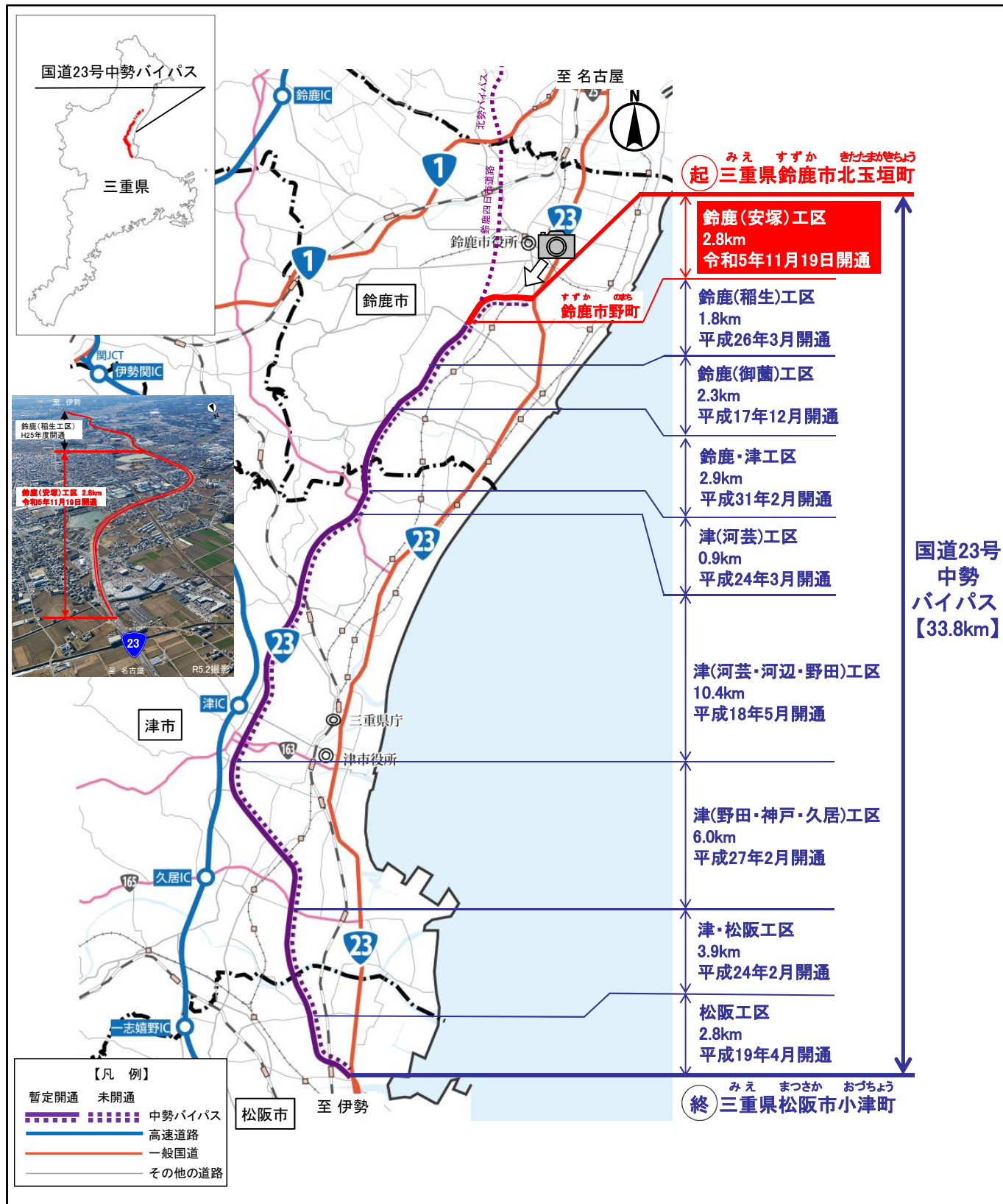
# 中勢バイパスの概要

別紙 1

ちゅうせい みえ すずか きたたまがきちょう まつさか おづちょう  
○国道23号中勢バイパスは、三重県鈴鹿市北玉垣町から松阪市小津町に至る延長33.8kmのバイパスです。

○鈴鹿（安塚）工区の開通により、中勢バイパス全線（33.8km）が暫定2車線で開通します。

## ■開通区間の位置図・状況

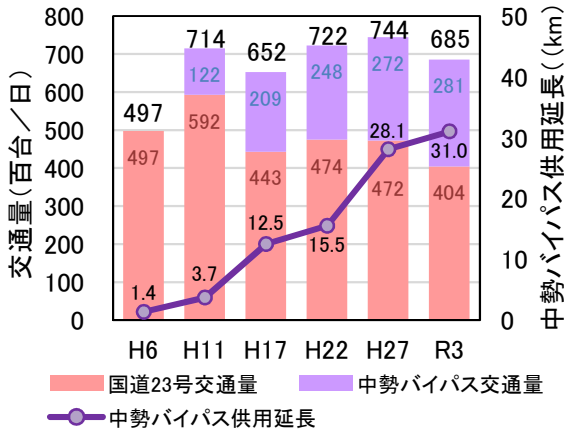


## 期待される 交通環境の改善 開通効果

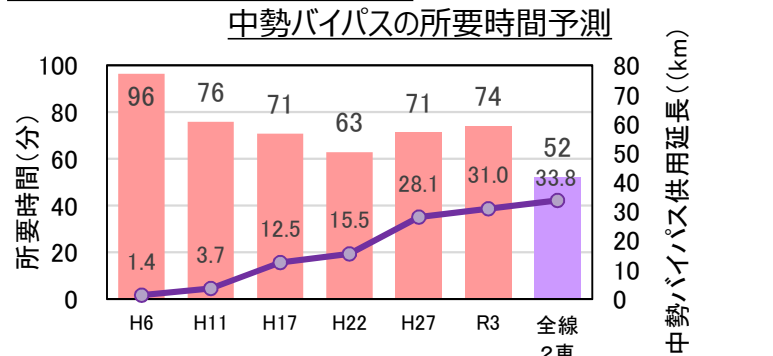
○平成5年度からの中勢バイパスの段階的な開通にともない、国道23号から中勢バイパスへの交通転換が進んだことで、国道23号の所要時間の短縮、交通事故の減少などの交通環境の改善がみられます。一方で、通過交通の約7割が国道23号を利用しているため、全線開通により、中勢バイパスへのさらなる交通転換が期待されます。



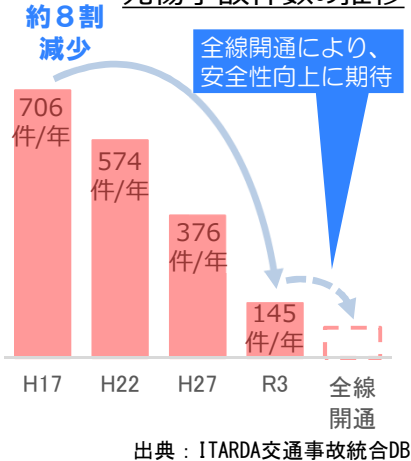
### 交通量の推移 (断面A)



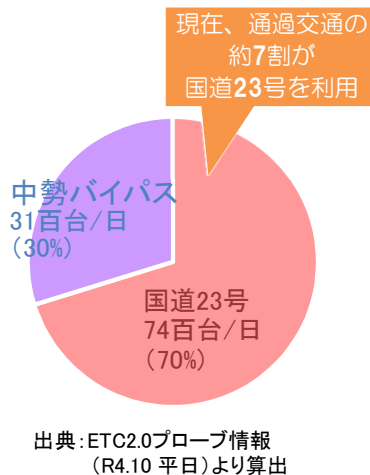
### 国道23号の所要時間推移と



### 国道23号 現道の 死傷事故件数の推移



### 通過交通の割合 (断面B)



### 地域の声

- 中勢バイパスの開通に伴い国道23号の渋滞が緩和してきています。
- 国道23号を利用していますが、以前よりも走りやすくなっています。
- 全線開通による更なる渋滞の緩和を期待しています。

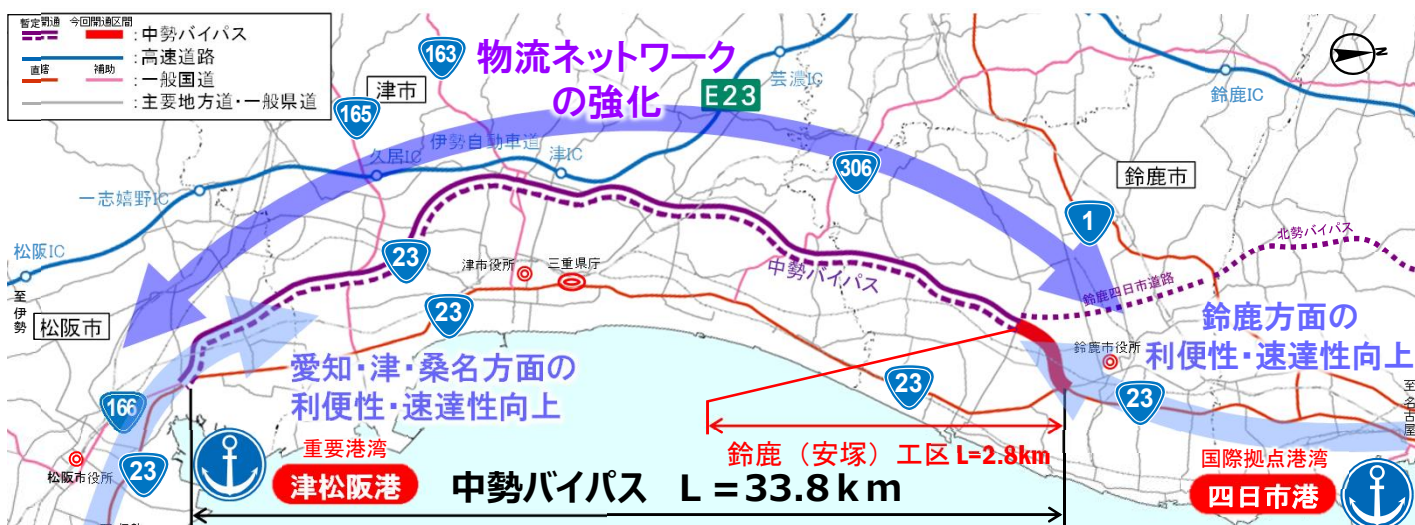
(津市立地企業)  
 出典：ヒアリング調査 (R5.9)

## 期待される 開通効果

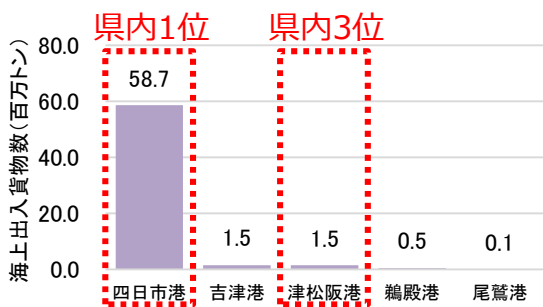
## 中勢地域の産業支援：円滑な物流の確保

- 国際拠点港湾の四日市港と津・松阪市内を結ぶ物流の輸送経路は、主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。
- また、中南勢地域の流通拠点である重要港湾の津松阪港から北勢方面、愛知県方面への一般道の物流輸送経路についても主に国道23号及び中勢バイパスが担っています。
- 中勢バイパスの全線開通により、国道23号と中勢バイパスが連結し一体として機能することで、輸送経路の速達性、時間信頼性の向上により、物流ネットワークの強化、円滑な物流交通の確保が期待されます。

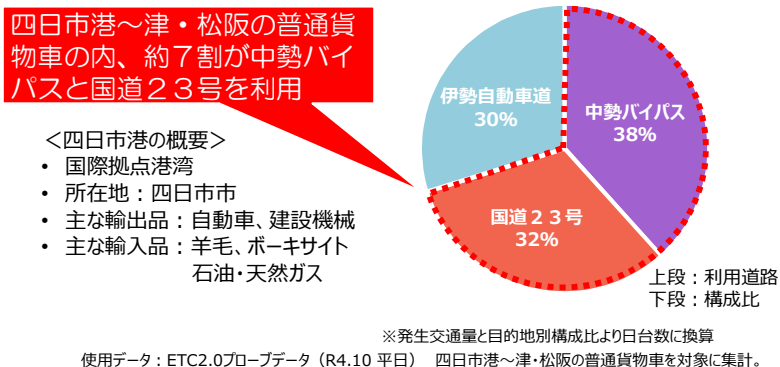
### ■ 物流事業者の輸送ルート



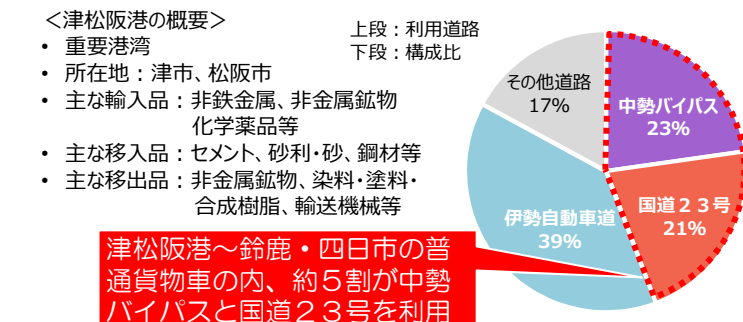
### ■ 三重県内主要港湾の取扱貨物量



### ■ 四日市港～津・松阪の普通貨物車の利用経路分担率



### ■ 津松阪港～鈴鹿・四日市の普通貨物車の利用経路分担率



・中勢バイパスが全線開通すれば、広域移動の際のルートとして、国道23号から中勢バイパスへの転換が考えられます。また、配送時間短縮で物流の効率化や定時制の確保に期待します。（物流事業者）

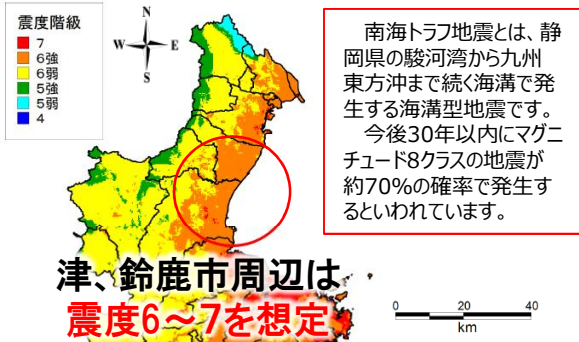
・中勢バイパス全線開通により、メインの物流ルートが、中勢バイパス経路になります。（製造業者）

## 期待される 開通効果

## 災害に強い道路機能の確保

- 緊急輸送道路に指定されている国道23号は、三重県の沿岸部を通過しており津波による浸水被害が懸念されるとともに、津、鈴鹿市周辺は南海トラフ巨大地震発生時に震度6~7が想定されています。
- 中勢バイパスは、浸水エリアを回避した内陸部に位置することから、くしの軸として内陸部から沿岸部への応急復旧活動を支援するとともに、道路ネットワークの多重性・代替性が強化されるなど災害に強い道路機能を確保します。

### ■南海トラフ巨大地震発生時の震度分布



出典：震被害想定調査結果(ハザード関係)の概要について(平成26年3月 三重県防災対策部)

※写真：中勢バイパス(R5.2月撮影)

### ■予測津波浸水域

### 国・県・市 防災拠点間の広域連携強化



※1 出典：三重県HP「津波浸水予測図(平成25年度地震被害想定調査)」※2について  
※2 南海トラフの理論上最大クラスの地震を想定した場合の浸水予測結果  
※3 三重県緊急輸送道路ネットワーク(令和5年2月 三重県)

### ■自治体の声

- ・国道23号は津波浸水予測区域内のため、内陸を通過する中勢バイパスの早期開通が必要です。
- ・中勢バイパスの整備によって、国道23号とのダブルネットワーク化を期待しています。
- ・災害時の使い方としては、災害直後の避難経路や救助活動の救助路、復旧活動の輸送路等を想定しています。
- ・災害時は関係団体と連携した緊急輸送道路等の交通確保が最優先で必要。中勢バイパス全線開通により、国や県、周辺市、自衛隊等との広域な連携強化を期待しています。

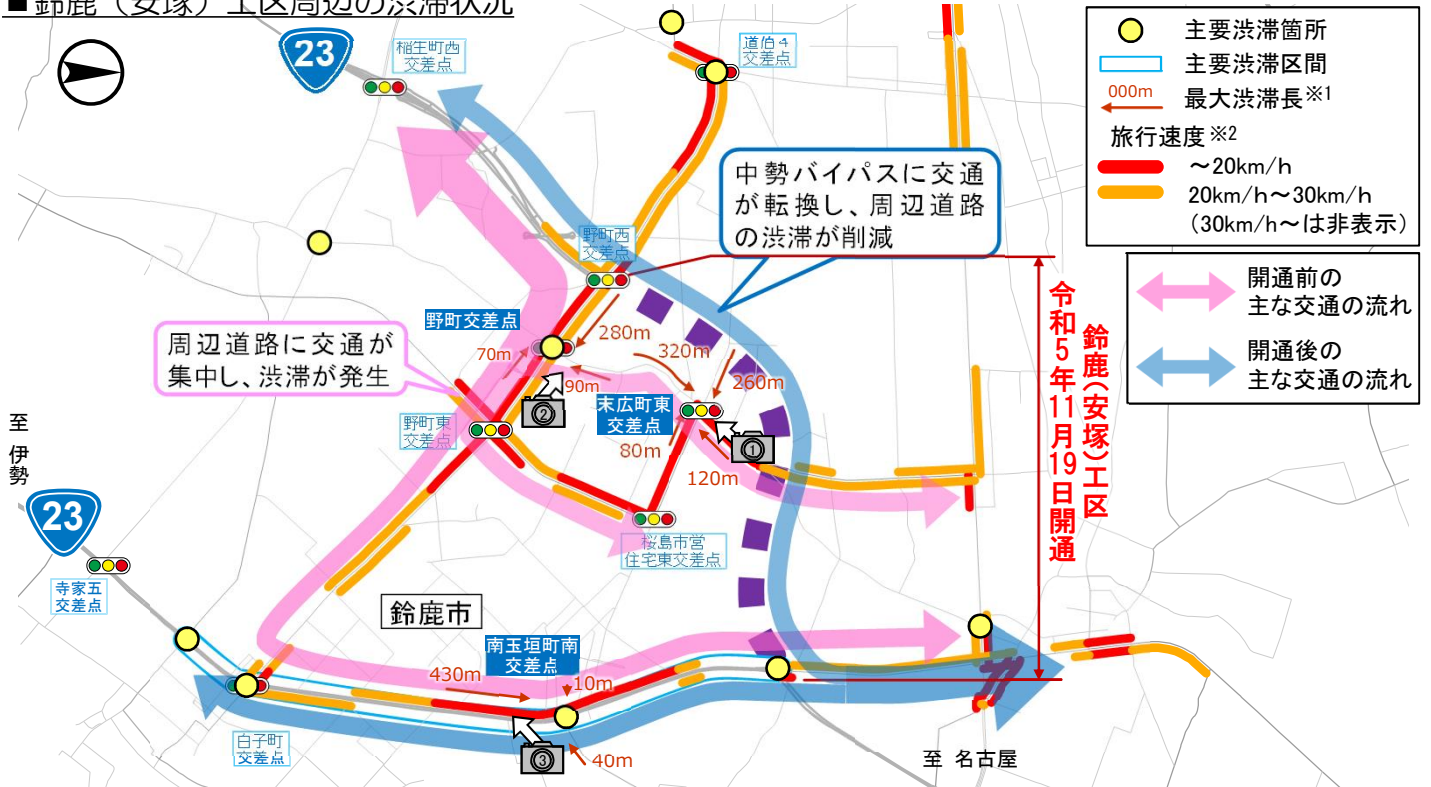


(自治体)  
出典：ヒアリング調査(R5.9)

## 期待される 交通環境の改善 開通効果

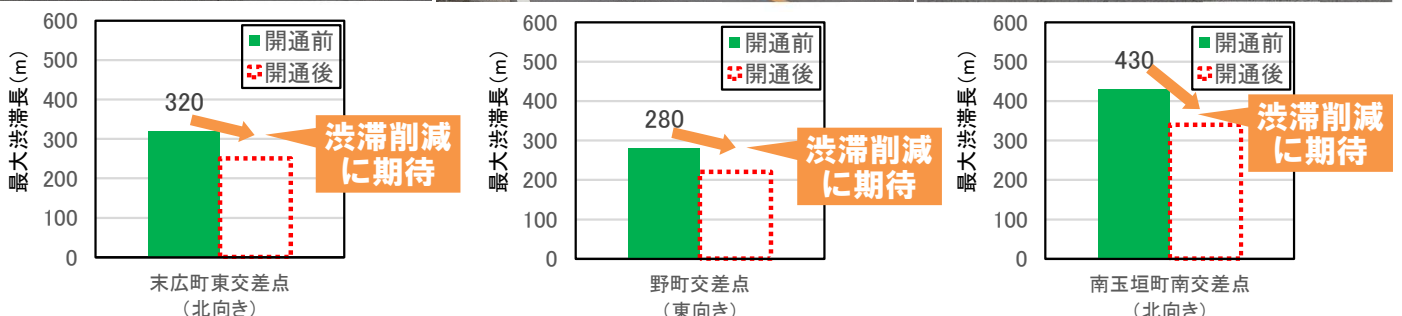
- 鈴鹿（安塚）工区周辺では、中勢バイパスが未開通のために、通勤交通などが周辺道路に集中し、朝夕を中心に渋滞が発生しています。
- 中勢バイパス（鈴鹿（安塚）工区）の開通により、国道23号や周辺道路から中勢バイパスへ交通転換することにより、国道23号及び周辺道路の渋滞緩和が期待されます。

### ■鈴鹿（安塚）工区周辺の渋滞状況



※1 出典：交通量調査結果（野町交差点はR1.5.22、末広町東交差点はR3.8.24、南玉垣町南交差点はR4.9.14）  
 ※2 出典：ETC2.0プローブ情報（R4.10 平日7時台）県道以上が対象

### ■周辺道路に期待される効果



開通前：交通量調査結果（野町交差点はR1.5.22、末広町東交差点はR3.8.24、南玉垣町南交差点はR4.9.14）